

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年												平成28年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	33	15	15	9	13	9	15	19
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	54	38	27	21	42	22	38 (39)	40
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	5	3	2	2	2	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	9	5	4	5	4	6	3	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	4	3	2	2	3	2	5	1
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0	2	6	4	9	0
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	8	5	6	1	3	5	7	5

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第8週(2月22日~2月28日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10			1	1	4	2	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1	1						
五類全数	2	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2					2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第8週 2/22~2/28)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

インフルエンザの流行状況

1. インフルエンザ

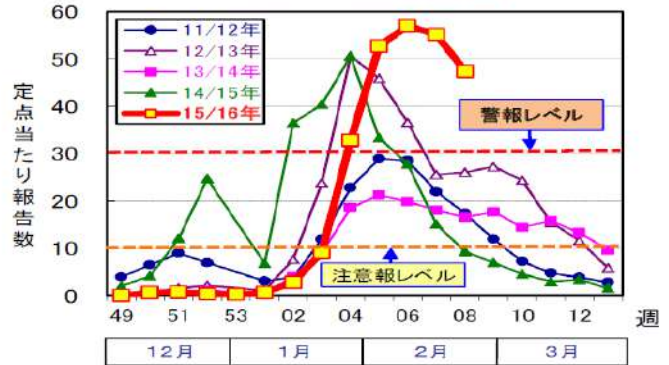
定点当たり47.4人と前週よりやや減少しましたが、依然警報レベル(定点当たり30.0人)を超えており、市内で流行が継続しています。

なお、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第8週は58件の報告があり、多い状況が続いています。今後も引き続き、手洗い・うがい、咳エチケットなどの対策を心がけましょう。特に集団生活施設では、感染予防対策を徹底することが重要です。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり8.38人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

なお、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は15人の報告があり、増加傾向にあります。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1755	47.43	18.81	↔	小児科	流行性耳下腺炎	17	0.71	0.42	↔
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.15	↔		RSウイルス感染症	3	0.13	0.27	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	3.50	1.99	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	↔
	感染性胃腸炎	201	8.38	10.47	↔		流行性角結膜炎	3	0.38	0.20	↔
	水痘	6	0.25	0.99	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	↔
	手足口病	-	-	0.22	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	↔
	伝染性紅斑	33	1.38	0.16	↔		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.17	↔
	突発性発しん	5	0.21	0.34	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↔
	百日咳	1	0.04	0.10	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2.14	-	↗
	ヘルパンギーナ	5	0.21	-	↔						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	30	女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	4	女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 肺炎	6	男	2016/02/15	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	41	男	2016/02/15	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	10	女	2016/02/16	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	2	女	2016/02/16	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	27	男	2016/02/17	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.0) 熱性痙攣	3	男	2016/02/17	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	28	女	2016/02/18	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	41	男	2016/02/18	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	44	女	2016/02/18	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	37	男	2016/02/18	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	31	男	2016/02/18	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.0) 丘疹	4	男	2016/01/20	咽頭拭い液	トヘルペスウイルス7型
川崎病	発熱(39.0) リンパ節腫脹	3	男	2016/01/19	咽頭拭い液	トヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	4	女	2016/01/17	鼻汁	ライウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.9) 下気道炎	4	男	2016/02/10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の疾患	発熱(40.0)	4	男	2015/12/26	咽頭拭い液	アデノウイルス3型